

第4回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会  
総務部会 (会議録)

会議の名称	第4回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総務部会
開催日時	令和5年12月1日(金) 午後7時30分から
開催場所	上矢作コミュニティセンター 講堂
議題	・報告・協議 (1) 【報告】第3回総務部会でのご意見を受けて ・議事録の修正について 【報告】幹事会の報告 ・各部会の進捗状況 (2) 制服・体操服・かばん・上履きについて(課題整理シート5) ・アンケートの集計結果の報告 (3) 校歌の制定について(課題整理シート2) ・作詞者、作曲者の選定等
公開非公開の別	公開
出席者	委員 原田 英明 安藤 一博 杉山 淳 小木曾 真由美 市岡 信宏 安藤 忠宏 水野 琴美 堀 雄二 小林 弘明 成瀬 久志 伊藤 直人 鈴木 真弓 小笹 寿里 伊藤 桂子 小栗 崇 成瀬 宰 榎本 大地 鈴木 直樹 伊藤 実千江 教育委員会 安藤 善和 西尾 功

加藤 陽子  
原 久晃  
会議の内容 会議録のとおり  
傍聴者の数 5名  
記者の数 1名

事務局 失礼いたします。定刻になりましたので、これより恵那南地区統合中学校準備委員会第4回総務部会を始めさせていただきます。よろしくお願いたします。まず初めに、お手元の資料の確認をさせていただきます。事前にも配付させていただきましたが、本日の会のレジュメがまず一番上にございます。次に、保護者、生徒、児童の3つのアンケートの集計をとじたものがございます。そして、その下には、アンケートを取るに当たりまして、前回の第3回の部会の、皆様からの御意見も含めた、現在の制服や体操服等の資料をもう一度そちらに置かせていただいております。そして、本日最後にお話しさせていただきます、校歌についての資料を一番最後のところに1枚つけさせていただきます。資料については、皆様、お手元にそろってございますでしょうか。お願いたします。

それでは、レジュメに沿って進めさせていただきます。まず初めに、部会長挨拶。原田会長様、お願いたします。

部会長 皆さんこんばんは。寒くて日も短くなってね、すぐ暗くなっちゃったんで、路面がすごく心配かなと思っているんですけども。これからしばらくこういう季節が続きますので、今後の会議でも、皆さん、気をつけて集まって解散していただけるようによろしくお願いいたします。

アンケートが出そろいまして、かなり膨大な資料がありますけども、これについて活発な御意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

あとは、事務局お願いたします。

事務局 はい、ありがとうございます。それでは、この後はこちらで進めさせていただきます。それでは、2番目の報告事項についてでございます。

まず、前回の第3回の総務部会のときに確認をさせていただきました第2回の総務部会の議事録につきましては、既に発言の内容等、要約をしていないものをホームページのほうにも上げさせていただいておりますので、既に御覧いただいた方も多いかと思っておりますので、御承知おきください。

そして、2つ目に、第2回の理事会のときのコンセプトについての全体のイメージがうっすら見えたというところの発言のうっすらという言葉について、そちらのほうも、第12号の準備委員会のたよりのほうで、訂正の記事を出させていただいております。また、お帰りになってから12号のたよりのほう、御覧いただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、先日、準備委員会の幹事会が開催されました。こちらの幹事会は、理事会に諮る議事について、各、総務、環境、教育の部会で、今、話し合われてい

る内容についての報告、そして、理事会のほうで検討いただく事柄についてお話しをさせていただいたものです。その折に、総務部会については、現在こうしたアンケートを基にして、この後、制服についての検討が進んでいきますという報告をさせていただいております。

また、環境部会では、校舎の増築する箇所につきまして、普通教室の入る建物を増築するに当たりまして、建物の位置などにつきまして意見が出されたことで、環境部会のほうからの提案が、この後、理事会になされます。教育部会のほうでは、生徒たちが充実した読書活動等ができる図書館の在り方について、部員の皆さんから集まった意見を基に、こんな図書館ができたらいいのではないのかという案を出していただきまして、これを、建物の関係にもなりますので、環境部会のほうとも連携して、今後、具体的な図書館の案としてまとめていくということが報告をされております。

また、詳細につきましては、幹事会の議事録がホームページでも上げられております。また、準備委員会だよりでも、内容につきましてお知らせをさせていただいておりますので、そちらのほうを御覧ください。

以上で報告のほう終わります。

委員 はい。

事務局 はい。

委員 議事録の件ですけど、ちゃんと書いてくださってありがとうございました。このときに、ここに、15ページ、議事録の15ページに、原田さんのほうから辞めたほうがいいかもしれませんねということ言われてると思うんですけど、それに関しては訂正ということでもいいですか。辞めなくてもいいということでもいいですか、私は。

事務局 もちろん。この会の中で、前回も原田会長さんのほうからもお話がありましたが、辞めなさいというような発言のものではございませんので。

委員 でも、私はそう受け取ったので、それは訂正ということでもいいですかという。  
事務局 その議事録の中にも載っているかと思いますが、あの会の中でも辞めろというようなものではありませんと。

委員 辞めたほうがいいかもしれませんねというのは書いてありますけど。  
事務局 その後に、そういった趣旨の発言ではありませんということを会長さんが申されたところも載っているかと思いますが。

委員 分かりました。では、おかしいって思ったことはおかしいということで発言してもよろしいでしょうか。

事務局 気になるところがございましたら。

委員 はい。

事務局 また発言のほうをしていただければと思いますが。

委員 そもそも、だから矛盾があることに関して、矛盾があるってことは伝えてもいいってことですかね。

事務局 そういった思いでこちらの会に参加をされているというところについては、御発言のところで皆さんも、それから議事録のほうでも、それは載せさせていた

だいておりますので、そういった思いで参加いただいているということは、皆さんもこれで承知をされていると思います。

委員 分かりました。ありがとうございます。

事務局 はい、お願いします。

委員 すみません。今回、議事録の改訂……。これって、議事録改訂したってことは、何で改訂したんですか。そもそも趣旨が間違ってたから改訂した。

事務局 いえ、趣旨がというよりは、やはり議事録の性格上、できるだけ、その会議の中での発言を正確にお伝えしたほうが、いろいろな誤解や、言った言わないですとか、そういったところも生まれにくいということもありまして、できるだけ正確な会議録の報告をしたほうがいいと。

委員 という判断で、今後は全てを載せていくということに変わったってことで。

事務局 変わったというか、はい、前回その。

委員 何で。僕が思ってるのは、何で前回出したときに要約したのかなと思って。

事務局 前回の会議の内容と、発言が重複している部分ですとか、ちょっと前回話し合われる、この総務部会で検討されるべき内容のところと合致しているのかどうかというようなところもあって、発言の内容について要約をさせていただいた部分や、まあ。

委員 発言内容が、じゃあふさわしくなかった。この会に対してふさわしくなかったという判断をされた、されて、その発言の内容を議事録から抜いた、抜いたというか、記載しなくていいというふうな判断をしたということですか。

事務局 そのときにはそういった判断の下で。

委員 されたってこと。

事務局 上げたんですけれども、やはり、より。

委員 それじゃあ。

事務局 それでは駄目だということでの、はい。

委員 配慮ってこと。

事務局 訂正をさせていただいておりますので。

委員 分かりました。ありがとうございます。

事務局 了解ください。お願いします。

委員 じゃあ、じゃあ。じゃあって申し訳ないんですけど、それ、そういうことだったんだなって思うと、今まで出てきた議事録にすごく不信感を持ちちゃってるんですよ、僕。今まで出てきた議事録が本当に発言された内容がしっかり載ってるのかなというのが疑問に思っちゃうんですけども。事務局のほうで判断して、これはふさわしくないというふうに判断して、削除された発言とかがあるんじゃないかなというふうに思っちゃうんですけども、そういったところはどうしたらいいですかね。

事務局 あの。

委員 一度、精査したいんで、録音1回自分に聞かせてくださいということは可能なんですかね。今まで取った。

事務局 ちょっとそのことにつきましては、会議の、ああいった形で会議録として出さ



ので、こちらについては。

委員  
事務局 いただいていたら、やらなくていいってことですか。  
御指摘をいただいていませんので、正しい発言の内容に沿ったものが掲載されているというふうに判断しております。

委員  
事務局 じゃあ、何も指摘をしなかったら、そのままのままだってことですね。  
ですので、何か不備等がございましたら、御指摘をいただきましたら、こちらで確認をいたしまして、また必要があれば訂正等させていただきますので。

委員  
事務局 ちなみに、じゃあ、今までの準備委員会であったり理事会であったりというの、全部録音として残っているんですか。

委員  
事務局 録音のデータは、前にも、理事会等でもお話をさせておりますが、いただいておりますが、会議録等を文字起こしをした後については、そういったデータの保存はこちらではしておりませんので、公表する、できる音声のデータというのはこちらにはございません。

委員  
事務局 分かりました。  
ですので、前回については、第2回の総務部会のものについては、音声のデータから文字起こしをしたものがまずベースのデータとしてありましたので、こちらのほうで今回上げさせていただいております。

委員  
事務局 分かりました。ありがとうございます。  
それでは、2つ目の、本日の協議のほうに移りたいと思います。保護者の皆様、それから中学生、それから小学校6年生の皆さんに、制服や体操服についてのアンケートに御協力をいただきました。昨日までアンケートのほう回答いただいていた学校もありまして、ほんとに資料をまとめるのがこの会の直前になってしまいまして、今日この場で御覧いただくことになりまして誠に恐縮に存じております。

御覧のとおり、保護者、それから中学生の生徒の皆さん、それから小学校6年の児童の皆さんからの回答の量、ボリュームが、大変多ございます。今日この時間内で全てについて御覧いただくことは難しいですので、本日は、まずは、制服についてアンケートの結果のところを御覧いただきながら、この後、各グループでの話合いのほうに移っていただきたいと思います。

それでは、お手元の保護者、生徒、児童のアンケートの集計の一番初めのところが制服についての回答が載っております。御覧いただきますと、まず数字だけで言いますと、制服はあったほうがよいというふうに考える保護者、それから中学生が、御覧のような数字で多くなっております。そして、小学生については、保護者や中学生の皆さんに比べると、若干、制服はなくてもいいのではないかと回答が多くなっております。

さらに、保護者の、資料でいいますと紙を2枚めくっていただきますと、制服があったほうがよい、それからないほうがよい、それらのことについて、自由記述で御意見をいただいております。この後少しお時間を取りますので、そういった、あったほうがよい、ないほうがよいといったところの御意見を御覧いただければと思います。

委員  
事務局 これ、アンケートの回答率ってどれくらいですか。  
はい。回答率ですけれども、保護者のほうが163名の方からの回答をいただいております。これについては、ちょっとごめんなさい、こども園と小・中学校の全保護者の人数が今ちょっと手元にございませんで、そのうちの163名ということになりますので、パーセントまではちょっと、今、申し訳ございません、出せませんが。ちなみに、中学生が323人、小学校の6年生が101人。小学生だけでも600人、中学生だけで300名ちょっと、こども園のほうも200名ほどというふうで考えますと、トータルで子供の数が700、800ぐらいになる中での保護者の回答数がこの数字ということでございます。すみません。生徒用というのは中学生。

委員  
事務局 はい。生徒用は中学生の1、2、3年生です。

委員  
事務局 学校で取ったんですか、これ。学校で。  
こちらについては、学校で、ロイロノートのところ、生徒の皆さんにアンケートに答えていただいています。

委員  
事務局 すみません。前回のときに、卒業生対象の方にもやってもらったらどうかという。  
そこにつきましては、回答の。はい。

委員  
事務局 ごめんなさい。卒業生につきましては、保護者の方と同様で、グーグルのほうで御回答いただいているので、この163名の中に含まれておりますが。区別をすると人が分かってしまったりとかいうこともありますので、保護者用の中に、一般の高校生の方であったりとか、卒業生の方というのが含まれておりますが、数としては少ないかと思えます。163のうちの。で、生徒用につきましては、人数が回答によってばらばらになっているんですけれども、途中で、答えるものは答える、答えないものは答えないという子もいらっしやたので、分母というか、人数にちょっとばらつきがありますけれども、大体、全員の生徒さんがお答えいただいております。小学校6年生についても、ほぼ全員がお答えいただいている状態です。  
以上です。

委員  
事務局 高校生に取ると言った理由としては、生の卒業生の声が聞きたいという思いから、そういった発言だったと思ったんですけれども。どの部分がというふうな判断は、じゃあ、この中からだと読み取れないということですね。どの辺が卒業生の意見なのかというのが分からない。

委員  
事務局 そうですね。今回はそういった区別がして、答えが出しておりませんで、そういった読み取りは確かにできないかと思えます。

委員  
事務局 ああ、なるほど。  
なかなか高校に頼んでということが難しいものですから、アンケートお答えいただくというところが。なので、今回はちょっとそのようなやり方をさせていただいたんですけど。また今後、私たちの部会だけじゃなくても、アンケートを取っていく機会というのがほかにも出てくるかと思えますので、また今後、いい方法とか、取りやすい方法が出てきたときには、またそういったところも

委員  
事務局

検討しながら行っていきたいと思います。

ありがとうございます。

それでは、今、保護者、生徒、児童のアンケートの結果について、制服の部分について御覧をいただいているかと思います。まず今日は、この制服につきまして各グループで、意見としては、制服があったほうがよいというのが多い結果となっておりますので、制服はあったほうがよいということで、総務部会のほうとして意見を取りまとめてよいものかどうかというところを、まず各グループの中で御検討いただきたいと思います。その上で、制服を、これから、じゃあ作っていきましょうということになったときに、どういった条件をつけることがよりよい制服づくりにつながるのかといったところの御意見を出していただければと思います。

例えば、前回で言いますと、ジェンダーに関わる配慮の部分ですとか、あとは着る回数も限られる中ですので、価格の問題ですとか、洗濯等の管理のしやすさ等々、制服に求められる条件というのが幾つかあるかと思いますが、そちらのほうを、制服があったほうがよいということであれば、その条件についても御意見として出していただければと思いますので、よろしく願いいたします。また、その条件を考える際に、なくてもよいところの意見のところの自由記述も大変参考になると思います。こういったところで課題を投げかけていただいている意見も多くありますので、そういったところも御覧いただきながら、制服を作るのであれば、よりよい制服のためにどうあったらよいのか御意見として出していただければと思いますので、よろしく願いいたします。

前回と同じように、各グループの中で司会進行の方を決めていただきまして、グループのほうで協議を進めていただければと思います。よろしく願いいたします。お時間のほうですけれども、この後、各グループから出た御意見を発表していただきたいものですから。いかがでしょうか。前の時計で8時20分のところをめぐりまして、各グループで制服についての交流をしていただきまして、20分になりましたら、グループからの話合いについて話していただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは、各グループでまず司会進行の方を決めていただいてから交流を始めてください。よろしく願いいたします。

～グループ討議～

事務局

はい。活発な御議論ありがとうございます。まだまだ話足りないところかと思いますが、司会進行していただいた方ありがとうございます。それでは、皆さんから出していただきました御意見のほうをまとめていただきまして、お話しいただければと思います。

それでは、前回と同じくこちらのAグループの、小学校のグループのほうからお話をいただければと思います。お願いいたします。

Aグループ発表者

では、Aグループのほうから意見についてお話しします。まず、形として一番多かった意見がブレザータイプのもので、子供の。反対意見の中に脱いだり着たりしにくいという意見がありましたので、脱ぎ着しやすいものということで、上がブレザー、下は、ジェンダーのことを考えて、スカート、スラックス、選べるようにという意見が、全員ほぼ同じように出てきました。

動きやすいというところを考えると、ジャージ素材がいいんじゃないかとか。それからポロシャツタイプで洗える、すぐに洗えるようなものがないんじゃないかというところも出ました。

それから、今言ったことについてですが、最終的に形については、色も含めてですが、やっぱり現役の子供たちに選んでもらって、ファッションショーみたいなものをして、そして、その中から子供たちが選んだ形のものを着ればいいんじゃないかというところまで出ました。

あと、ここはまた離れるんですが、制服のレンタルとかいうのが、全国の中にはあるというお話があつて。じゃあ、もしできるなら、そういうレンタルというのもいいねと。レンタルすれば、また選択の幅がぐっと広がるので、それもちょっと考えて、できるならそちらのほうも調べていってほしいということでした。

それと、レンタルできないなら、やっぱり値段は、価格を抑えて安くしてほしいという意見と。それから、恵那市が制服代金を全部負担してほしいという意見も出ました。

以上です。

事務局 ありがとうございます。では、こども園のBグループお願いいたします。

Bグループ発表者

はい。Bグループです。自分は上矢作なのに遅参して申し訳ございません。Bグループ、私、遅刻してきたんですが、大体話は決まっていたそうです。

まず、ほぼほぼ制服の議論で終わったようなんですが。結論から言うと、現役の子供たちのアンケートでいくと、やっぱり圧倒的に制服はあったほうがいいというところ。ジャージにしる、制服のところ。Aグループとよく似てるんですけども、例えば、選べるような、選択肢を、A案、B案、C案みたいな形をつくっておいて、子供たちや保護者の方々が選べるような準備をしたらどうかかなという。そこには、素材だったり、さっきジェンダーとか、いろんな要素がありますが、夏は涼しく、冬はあったかいみたいな、そんな制服が、あるいはジャージが、機能性のあるジャージがあればいいのかなという話がありました。

例えば、業者さんにこう何かプレゼン。さっきのファッションショーもいなくなって聞いてて思ったんですけど、市内なのか、ちょっと分かんないですけど、業者さんとかメーカーさんにプレゼンテーションしてもらって、そういうところの手触り、肌触り、着心地の確認をして選ぶ。あるいは洗濯200回とかやって、耐久性で選ぶこともあってもいいのかな、なんていうのは思いました。あと、その切り替えて議論があったと思うんですが。今日、今回出していた

だいた、この資料。よく分かりやすいなと思ってたので、徐々に替えていく。あるいは、御兄弟でも一気に替えたい方もいらっしゃるでしょう、いろいろ家庭事情があると思うので、この表がすごく分かりやすいので、順次替えていくというのがよろしいんじゃないでしょうかというのがありました。

そんな感じでいいですか。はい、そんな感じで、Bグループ、以上です。

Aグループ発表者

すみません。Aグループ、ごめんなさい、言い忘れたこと言っていていいでしょうか。

事務局 はい、お願いします。

Aグループ発表者

ごめんなさい。先ほどいろいろ言ったんですが、アンケートも子供たちにとって、制服の形をまずたくさん取った上で、またファッションショーということでしたので。アンケートの言葉を落としました。よろしくお願いします。

事務局 ありがとうございます。それでは、Cグループ、中学校グループお願いいたします。

Cグループ発表者

はい。じゃあ中学校の部ですが、いろいろ議論をしましたが、なかなかちょっとまとまらず、ですが。制服については、アンケートを見た感じ、保護者のほうがちょっと回答率が低いのであれなんです、現役の学生が、これほど制服がいいという答えが出ると思わなかったんですが、それを踏まえて、中学校のほうのCグループとしても制服はあったほうがいいんじゃないかということで、まず一番初めの議題です。

で、デザインについては、ブレザーとかにしていくというのもいいんですけども、今まで使ってきた、お下がりとか、そういうものを使っていくのであれば、今までの学ランで、ジェンダーに対応して、セーラー服のスカートタイプとズボンタイプというような形で考えていけばいいのではないかとということ。

先ほどちょっとAグループのほうでもありましたけれども、サブスクについて、ちょっと教育委員会、ちょっとこの前の会議のときにお話をして、今、回答があったんですが、数が少ないということで、それに踏まえて、市内統一にしていくような形にして、市がちょっと全面的に協力していただいて、サブスクができるような体制をつくってもらえると、非常に金銭的に下がったのができていくのではないかとというような議論をさせていただきました。

いろいろ読んで議論してたので、ちょっとここまであれなんですけど。もう少し時間がほしいなと思ったところです。すみません。はい、以上です。

事務局 ありがとうございます。まず、今日のこの、それぞれのグループでの話し合っていたところで確認をさせていただきます。総務部会としては、制服については、あったほうがよいということで、この後、提案をしていきたいと思えます。併せて、今、各グループから出していただきました制服の条件ですね、必要条件につきまして、次回のところで御確認いただけるように取りまとめてまいりますので、そういった条件を、これから、今後、業者のほうに投げ

ていって、それを1つでも多くかなえていただけるように進めていくということできたいと思います。

また、今日はお時間の関係で制服についての、まず交流だけでしたが、この後、ジャージについて、それから体操服やかばんについてもあります。こちらとしても、事務局のほうでも、もう少し学校生活を送る上で、安全のことを考えたりですとか、様々な学校生活の中のことを考えたときに、体操服やかばんがどのようにあるとよいのかといったところにつきましては、今回の意見も含めまして、次回以降の部会で皆様にお示しできるようにしていきたいと思っておりますので、そこを御覧いただきながら、今後の体操服やかばん等についてもまた御意見をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

まずは、今日たくさんの、まだ資料で読み切れてないところもあると思いますので、ぜひ、またお帰りになりましたら、体操服、かばん等についての、子供たち、保護者の皆さんからの意見についても御覧いただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは。

委員 すみません。1つだけいいですか。上履きの件なんですけど、多分、ここの会だけじゃないとこに波及すると思うので、ちょっと発言だけさせてもらいたいですけど。一足制という概念はないですかというところだけ確認させてもらいたい。

事務局 一足というのは。

委員 もう土足。上履きにする必要があるの？という。

事務局 ああ。上下で、もう外履きのまま。

委員 そう。これだと何かもう上履きありきでのアンケートになっていて。

事務局 建物の中に入れるようにできたらどうかという御意見でございますね。

委員 そうです、そうです、はい。

事務局 また、今回のちょっとアンケートの中では、それを諮ることができませんでしたので、ちょっとまた今後、そこについては1つ課題として。

委員 はい。

事務局 また、考えさせてください。

委員 ただ、これ環境じゃなくて、何やったっけ、校舎とかの検討とかに。

事務局 はい、そうです。今度、床を土足履きでも耐えられるようなものに、そうすると変えなければいけないですとか、そういったところにも。

委員 波及しますよね。

事務局 はい。関わることですので。また、ちょっとここについては、今後の検討の項目として、ひとつよろしく願いいたします。

委員 はい。

事務局 はい。

委員 すみません、いいですか。このアンケート調査ですけど、配信されるわけですか。

事務局 これについてはちゃんと保護者、生徒の皆さんに御覧いただけるようにします

ので、御協力いただいた皆さんには、ちゃんと返していきたいと思っております。はい、御承知おきください。

委員  
事務局

分かりました。

それでは、これは次回のことにも関わることですが、最後、協議事項のところ、課題の2として、今後、校歌についてもこの部会で検討をしていくこととなります。そこに当たりまして、本日の資料一番最後のところに1枚つけさせていただいておりますが、作詞・作曲をどなたにお願いするのかといったところで、全国的な事例について幾つか取り上げたものも載せさせていただいております。それから、現在の恵那市内の小・中学校の校歌の作詞・作曲の方も載っておりますが、残念ながら、もう制定されたのが随分前になるものですから、今、御存命の方はほとんどいらっしゃらないというような状況でございます。ただ、今後、作詞・作曲する方をお願いするに当たって、大体どこの学校も、校歌に込める思い、願い、こういった言葉を入れていきたいといったところについては、保護者や子供たち、地域の皆さん、たくさんの方からの意見を、思いを受けて、言葉を集めて、歌詞にしていっていただくというようなところは共通なんです、この作詞・作曲を誰にお願いするかというのは、やはりこの、どんな校歌を作りたいかというところからのストーリーで、ちょっと皆様にもお知恵をいただきたいなと思っております。

委員  
事務局

ちなみに校歌って絶対必要なんですか。

校歌については、ほんとに必要かどうかについても。今回、制服が必要かどうかのアンケートを取ったように、そこも含めて、意見については、今後取っていく必要はあるかと思いますが、その校歌が作るということになりますと、今回の新中学校の基本構想にもありますが、「未来をつくる 人とつながる 地域とあゆむ」というところを考えたときに、全国的には、例えば、AIに校歌の原案を作らせるような自治体もございます。それから、地域、そして、人とのつながりというところで、郷土と関わりのある文化人、音楽家の方ですとか、教育関係者の方に作詞や作曲をお願いするといったところもほんとにたくさんございます。

そういったところで、まだまだ具体的なお名前は上がらないにしても、この総務部会の皆様から、こういった方に作詞や作曲をお願いするのがふさわしいのではないかというお知恵をいただければと思います。有名な音楽家の、例えば、御親類の方がこの恵那にいらっしゃるとか、恵那出身の方がいるとか。恵那に限らず、この岐阜県というくくりでもいいかと思っております。少しでもふるさとに関わりのある方に、ふるさとのよさなんかを伝える校歌を作っていただくのがよいかと思っておりますので、どんな方がいいのか、こんな方がいるよというような情報がございましたら、ぜひ次回以降、お寄せいただきたいと思っておりますので、こちら資料としてつけさせていただきました。よろしく願いいたします。

委員  
事務局  
委員

それも、すぐ一とかで発信して、こういう人がいるよって。

そうですね、また。

市民の方とかにしたらいんじゃないかなと思っておりますけど。

事務局 そうですね。はい、ありがとうございます。またそういった作詞・作曲家の方の情報をお寄せいただきたいというところも、また広報の仕方についても考えていきたいと思います。

それでは、次回、第5回の総務部会につきまして。今日、皆様に時間と会場をお伝えさせていただければと思います。次回ですが、1月12日金曜日に岩村コミュニティセンターの大会議室のほうを借りることができましたので、1月12日金曜日。時間ですが、ここでいかがでしょう、前回と今回7時半スタートでいきましたが、7時スタートと、7時半スタートと、皆さん会議に出られてみて、どちらのほうが出やすいというのはありますか。

委員 7時半でお願いしたいです。7時半で。

事務局 どちらでもできるんですけども。

委員 今日と同じ時間で。

事務局 今日と同じのほうよろしいですか。それでは7時半からということで、よろしくお願いたします。

なお、次回、御検討いただく内容につきましては、ジャージの在り方について、今日の続きで御検討いただきたいというのがございます。それから、もう一つ、校名、学校名ですね、学校名の決め方についても1月の会議から順番に皆様からの御意見をいただきながら進めていきたいと思います。前回の第2回の資料を御覧いただければと思いますが、部会の中で案を幾つか示してアンケートを取るような形にするのか、スタートのところから公募で案を募って、それを絞り込んで改めてアンケートを取るのか、どちらかのやり方、またはそれ以外のやり方等につきまして、次回の部会で御検討いただき、御意見をいただきたいと思います。よろしくお願いたします。

次回の部会についての御質問はございませんか。はい、お願いたします。

委員 申し訳ないです。この検討議題のグループ交流を始めるときに、これとこれについて話し合ってくださいって口頭で言っていたんですけども、途中話ししていくと、どこの内容になってっちゃうんで、大まかでいいんで、制服について必要か必要じゃないか等の検討みたいなのがあるとまとめていきやすいので。

事務局 レジюмеの中にまとめさせていただきます。

委員 口頭だけだと、ちょっと聞き取れなかった部分も。

事務局 かしこまりました。申し訳ございません。

委員 あるとありがたいです。

事務局 はい、ありがとうございます。はい、よろしいでしょうか。

それでは、長時間にわたりまして活発な御議論ありがとうございました。では、これを持ちまして第4回総務部会を閉じさせていただきます。外は大変冷え込んでまいりましたので、お帰り、お気をつけてください。お願いたします。どうもありがとうございました。